

令和2年度航空機生産額は 前年度比6,059億円の減額

経済産業省が5月19日に公表した生産動態統計月報に基づき、令和2年度の航空機生産額（速報値）を集計した。その結果、総額は前年度比6,059億円（32.4%）減の1兆2,634億円となった。平成25年度から急増した生産額は、平成28年度に反転下落した後に緩やかに増加し、令和元年度に1兆8,693億円となったが、令和2年度は大きく下落していることが確認された。

防需と民需の内訳は、防衛向けが前年比39億円減の5,057億円、民間向けが6,020億円減の7,576億円となっている。

品目別にみると、機体の生産額は、防衛向けが機体製造の増及び機体部品の減により昨年度実績とほぼ同じレベルの3,267億円、民間向けが主力のボーイング777及び787の生産減等により昨年度実績を2,974億円下回る3,452億円となったため、機体全体では前年度より2,986億円（30.8%）減の6,719億円となった。エンジンの生産額は、防衛向けが29億円の増、民間向けが2,973億円の減となり、エンジン全体では前年度より2,944億円（38.7%）減の4,664億円となった。また、その他機器（付属品・通信機器等）の生産額は、防衛・民間向けともに減となり、その他の機器全体では前年度より129億円（9.3%）減の1,251億円となった。

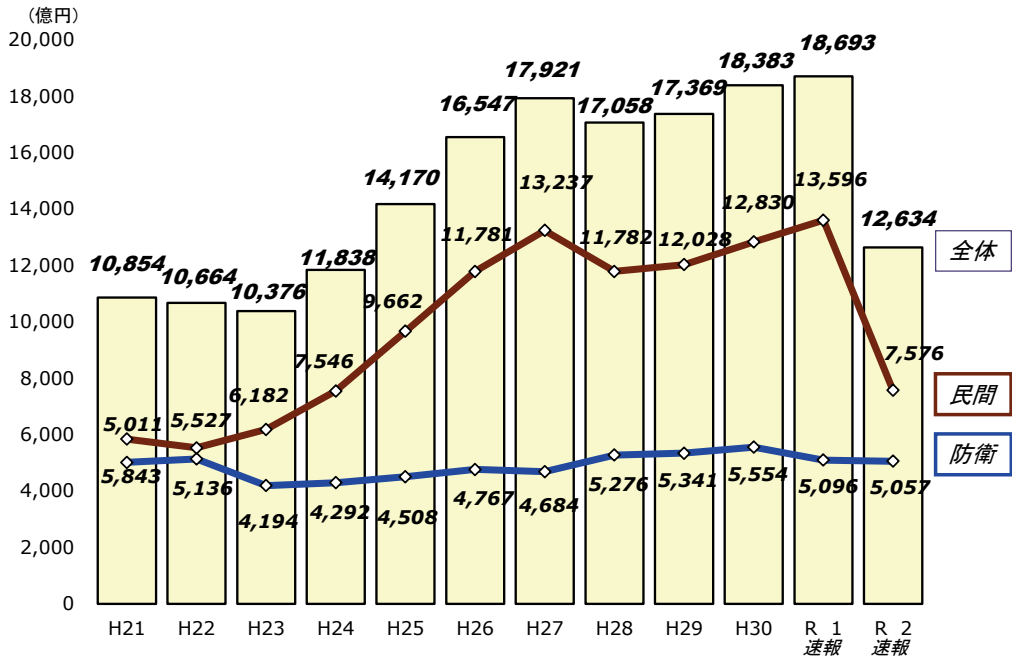
また、全体額の防需と民需の比率は40%対60%と民需が前年より大きく減少となったが、平成21年度以降連続して民需比率が50%を超える状況が続いている。近年、民間航空

機でボーイング社等からの受注増大に伴い民需比率が増大する傾向にあったが（民需比率のピークは平成27年度の74%）、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により航空機需要が減少し、民需比率が大きく減少する結果となった。なお、令和2年度の品目別防需比率は、機体関連49%、エンジン関連17%、その他機器80%となっている。

上記のように令和2年度の我が国の航空機生産は、令和元年度から大きく減少した。今後については、防衛向けではP-1固定翼哨戒機やC-2輸送機等の調達に伴う安定的な生産及び次期戦闘機の開発推進が期待される。民間向けではボーイング社の次期主力機777X初号機納入が2023年に延期されたことに加え、ボーイング社は、新型コロナウイルスの影響による航空機需要減が見込まれるとして、777及び777Xの減産を公表し、また、787についても同様の理由で減産を公表している。こうした状況を踏まえると、令和3年度以降の航空機生産の動向はかなり厳しい状況が想定される。

〔(一社)日本航空宇宙工業会 業務部長 杉原 康二〕

航空機・生産額の推移（年度）



令和元年度と令和2年度の区分別比較

(億円)

区分	R01年度 速報値			R02年度 速報値			差 (R02 - R01)				
	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計		
製造	機体	本体	1,041	12	1,053	1,187	28	1,215	145	16	161
		部品	1,255	6,160	7,415	1,007	3,193	4,200	△248	△2,967	△3,215
		小計	2,297	6,171	8,468	2,194	3,221	5,415	△103	△2,950	△3,053
	エンジン	本体	205	4	209	215	5	221	11	1	12
		部品	458	6,516	6,974	424	3,611	4,034	△34	△2,905	△2,940
		小計	662	6,520	7,183	639	3,616	4,255	△23	△2,904	△2,928
	その他機器	893	291	1,184	862	216	1,078	△32	△75	△106	
計	3,852	12,983	16,835	3,695	7,053	10,748	△158	△5,930	△6,087		
修理	機体	本体	584	152	736	710	135	845	126	△17	109
		部品	398	103	501	363	96	459	△36	△6	△42
		小計	983	254	1,237	1,073	231	1,304	90	△23	67
	エンジン	本体	69	260	329	112	242	354	43	△18	24
		部品	24	72	96	34	22	55	10	△50	△40
		小計	93	332	425	145	264	409	52	△68	△16
	その他機器	168	27	196	145	28	173	△24	1	△23	
計	1,244	614	1,858	1,363	523	1,886	119	△91	28		
全体	機体	本体	1,626	164	1,789	1,897	163	2,060	271	△1	270
		部品	1,654	6,262	7,916	1,370	3,289	4,659	△284	△2,973	△3,256
		小計	3,279 (34%)	6,426 (66%)	9,705 (100%)	3,267 (49%)	3,452 (51%)	6,719 (100%)	△13	△2,974	△2,986
	エンジン	本体	274	264	538	327	247	574	53	△17	36
		部品	481	6,588	7,069	457	3,633	4,090	△24	△2,955	△2,980
		小計	755 (10%)	6,852 (90%)	7,608 (100%)	784 (17%)	3,880 (83%)	4,664 (100%)	29	△2,973	△2,944
	その他機器	1,062 (77%)	318 (23%)	1,380 (100%)	1,006 (80%)	244 (20%)	1,251 (100%)	△55	△74	△129	
計	5,096 (27%)	13,596 (73%)	18,693 (100%)	5,057 (40%)	7,576 (60%)	12,634 (100%)	△39	△6,020	△6,059		

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない

(出典: 経済産業省 生産動態統計)